

広報

# にしきが

第3号

平成18年

# 1月号

## 今月の内容

町長と西和賀高校生の新春対談.....	2~3
年男年女新春レター.....	4~5
助役人事決まる・ 豪雪災害警戒本部を設置.....	6
両スノーバスターズ出動.....	7
西和賀町消防出初式.....	8
町長杯小学生雪合戦大会.....	9
地域レーダー.....	10~11
(沢内地区書初・国際交流研修会・沢病クリスマス会・ スポ少結団式・納貯連4月発足・麻美さん力走)	
裸まつりと白木野人形送り.....	12
受賞おめでとう.....	13
指導隊・防犯隊出動式.....	14
申告の案内.....	16~17

写真 1月9日 スノーバスターズで出動した児童

## 町長と西校生 じっくり語り合う

あけましておめでとうございます。西和賀町が昨年11月1日に誕生し、初めての正月を迎えました。西和賀高校は町内にある唯一の高校として多くの人材を生みだしています。昨年は存続問題で大きく揺れ動きました。

今月号では新春企画として西和賀町の今後を担う若くたくましいエネルギーを持つ西和賀高校生の代表3人に登場していただき、高橋町長と高校生活や今後のまちづくりなどについて対談をしました。



平澤歩惟さん  
(3年生・泉沢)

一年生からスキー部に所属。進路も決まり、残る高校生活をエンジョイしています。



村上光平君  
(2年・新山)

柔道部に所属し、双子の兄。将来については、これからじっくり考えていくと話しています。



高橋佳寿子さん  
(2年・下前)

ボート部に所属。惜しくも昨年はインターハイ出場を逃しましたが、今年は最後の大会となるだけに気合いが入ります。



高橋繁 町長

西和賀町初代町長。長い間、教育者として教壇に立ちました。西和賀高等学校教育振興会長。

**町長** 今日のは広報の新春企画として、若い皆さんが日ごろどんなことを考えているのかお聞きしながら、今後に活かしていきたいと思えます。

初めに、西高に進学した理由を聞かせてください。

### 西高に進学した理由

**高橋** 自宅から近いのでクラブや勉強に集中できると思って西和賀高校に進学を決めました。最初は、勉強とクラブの両立が出来るか心配でしたが、クラブも厳しいですがやりがいがあります。勉強もわかりやすく教えてくれるので充実した高校生活を送っています。将来は、岩手大学に進学したいです。教育学部と工学部で迷っていますが、数学の先生を目指しています。

**村上** 自宅から通える距離と、小規模校のためより密着した指導を受けることができると思ったので入学を決めました。将来については、まだ決めていないのでこれからじっくり考えて

いきたいです。

**平澤** 児童福祉に興味をもっています。子供が好きで子供を見ていると元気になると思います。そのため福祉コースを選択しました。卒業後は、岩手県立大学社会福祉学部福祉臨床学科に進学し、児童福祉などを学ぶことにしています。

**町長** 皆さんは夢をもっていてすごいな。私が高校のころは夢なんてなかった。世の中灰色だった。私は北上の高校に進学したが、西和賀のズーゾー弁のため「沢内の熊」などと呼ばれていた。ちゃんとした発音ができなくてバカにされた記憶がある。話すことが苦手だった。しかし、なぜか大学は国語科に入学して、最初の赴任校では父母から「日本語のちゃんと話せない国語の先生がきた」と言われた。ある先輩が「方言も立派な日本語だ。繁君、君もズーゾー弁でどうどうとやりなさい」と言われ、その後方言に対する意識が変わったし、人前でも話せるようになった。

## 西高に必要なもの

**平澤** 高校では、応援歌練習など中学校と違い怖いイメージがありました。しかし、実際に入学して生徒会活動などを通じてイメージが変わりました。せっかくの地元の高校なので、地元中学校から多くの入学生を迎えることが出来ると思います。後輩が少ないのは残念です。

**町長** これは確かに大切なことだな。

**村上** 部活などで実績を残して、各中学校や地域にアピールしていく必要があると思っています。自分も柔道部で、各種の大会に出場していますが、精神面の弱さを感じました。

**町長** 実績を残すためにどうすれば良いと考えているか。

**村上** 部員の人数が少ないことと練習量が足りないことで、この辺を改善していく必要があります。また、柔道部にはコーチがいないので、自分たちで本を買うなどして研究しています。

**町長** それは良いことだ。自分達で考えながらやって結果を残すことで、もっともっと部員が増えていくのではないか。

**高橋** ボート部に限って言えば、新しいボートが欲しいです。町の競技用のボートは購入からかなりの年数が経過しているので、大会の際には言惑い事があります。

**町長** それは調べてみる必要があるな。

## 町の後継者に

**平澤** 西高には、福祉コース情報コースがあります。それを活かせる就職先が地元ないと感じています。施設はあっても、新規の採用がなかなか無いのが現実だと思います。自分たちの資格を活かすことができる職場が町にあれば、若者が地元に着いていくのではないのでしょうか。

**村上** 家族を支えていけるような、安定していて一生働ける職場が必要だと思います。自宅では、花卉などをやっているのですが、正直に

いつと農業を継ぐ気は今のところありません。

**高橋** いろいろな面でもっと便利な町になると、地元で暮らす人が多くなるのではないか、と思っています。

**町長** 西和賀高校の卒業生がそれぞれ町外に出て進学したり就職することは大事だし、そういう夢を持って高校生活を送っているのはすばらしいことだ。ただし、西和賀町に戻ってきて欲しい。西和賀町にもどって、西和賀の人々の暮らしを明るくする工夫を皆さんにしてみたい。

また、農業は今の若い人には人気がないようだが、観光産業などの他産業と連



1月16日の対談の様子、町長の話にも熱がはまりました

携することで、農業も変えていけるのではないか。さらに新しい分野の開発などを皆さんにチャレンジして欲しいな。

## なぜ合併を

**平澤** なぜ合併しなければならなかったのですか。

**町長** 国でも膨大な借金をしている。各自治体が最低の行政サービスを一律に行えるようにする地方交付税が、今までのとおり国から配分されなくなった。

そのため、自治体では効率の良い行政運営をするために合併が必要だった。県内でも多くの自治体が合併している。みんなで助け合いながら予算を節約していくことが、住民のためにもなる。この合併の効果が出てくるのは2、3年かかるだろう。特例債が使え10年間のうちに、みんな力を合わせてまちづくりをしていく必要がある。

## 高齢化と少子化

**平澤** 町では高齢者に対し

てはいろいろな面で支援していますが、少子化についてはどのようなことを考えているのでしょうか。

**町長** これはたいへん難しい問題だ。いろいろな問題があるからだ。しかし、若い人がどんどん住みついて就職し、定着できる町にしなければならぬ。

## 結びに

**町長** 皆さんが、まじめに勉強してることがわかったし感心した。

私から皆さんに言いたいことは、物事を考えるときに、「もと」から考えて欲しいということ。

社会福祉って何だ、柔道に勝つということはどういうことなんだ、そこには何の意味があるのか、常に問いかけをしながら考えて欲しい。根本的なことを考える若者であって欲しいと願う。今日はいろいろな話を聞く事が出来ました。ありがとうございました。

(進行・企画課長、文・企画課広報係)

町内の成年生まれ  
605人

全国では

もつとも少ない千支

平成18年1月1日に総務省が発表した資料によると、成年生まれの人は、全国で975万人と推計されています。十二支別人口では、成年生まれは最も少ないと言われています。一方、西和賀町では、町民課の調べによると成年生まれの方は605人です。

### 多様な品種と形態

犬は、オカミから派生したとする学説が現在一般的なになっています。また、犬は主従関係を好み縄張り意識が強いので、元来は、住宅の見張り番や狩猟用の助手として役割を果たしてきました。

現在では番犬よりも、ペットとして家族同様に扱われる愛玩用が多いのではないのでしょうか。犬は、手のひらに載るようなチワワから100kgを超すセントバーナードまで、種類は400種以上で大きさもまちまち。

### 嗅覚と聴覚に優れる

犬が臭いをかぎ分ける能力は人間の数千倍から数万倍、音を聞き分ける能力も人間以上だと言われています。

## 年男年女の抱負や思い

成年生まれのそれぞれの年代から一人づつ今年の抱負や思いを語っていただきました。



佐藤小雪さん（小繁沢）

平成6年生まれ

勉強やクラブをがんばる

川尻小学校6年生の小雪さんは、保健委員会の委員長を務めています。週に一度は全校児童の爪やハンカチちり紙検査、手洗い石けんの取り替えの仕事など忙しい日々を送っています。

「今年の春から中学生なので勉強やクラブ活動がんばりたいです。クラブは女子バレーに入学したいと思っていますが、本当は球技が苦手です。練習についていけないかどうか不安もあります。将来は看護婦さんか、作家になりたい」と読書が好きな少女です。



深澤廣見さん（太田）

昭和9年生まれ

町の活性化を望む

太田地区の行政区長を務める廣見さん。生活は農業中心で、水稲のほか、リンドウ栽培、また町内では少なくなりましたが牛も飼っています。

「去年は、下水道の普及もすずみ、豪雪だったのが豊作にも恵まれ、集落営農のモデル賞をもらうなど太田地区としてはまずまずの年だった。合併もあつたが、後から合併して良かったと言われようかな。後から合併して欲しい。そのためには、若い人の意見や力が必要だ。また、地域や行政が一緒になって進めていく必要がある」と春先の農作業を心配しつつも、区長として町の活性化と若者定住促進を気にかけていました。



高橋ハツエさん（弁天）

明治43年生まれ

今でも身の回りは自分で

デイサービスでみんなと集まり、お茶を飲んだり、体操をしたり話をしたりするのが楽しみというハツエさん。膝が悪く、杖の必要があるものの自分のことは自分でできているとのこと。

「96歳になるまで、すてっこだった。あまり近けて。ゆぎ降れば春来て、すぐ秋くる。むがしだば、いつペ難儀ばりしたもんだ。んだども、世の中に生まれできて、いろんなことごと見ることができて、ありがでもんだ」と話し、今年の様な雪は初めてで記憶になく、「ゆぎ見るのもやんだ。見だばりでたくさんだ」と空を見上げていました。



大木秀一さん（湯田）

昭和45年生まれ

一日一日を大切に

西和賀高校硬式野球部の監督の秀一先生。昨年は、西和賀高校硬式野球部創立以来22年目にして夏の大会の一勝を果しました。しかし、このことを記念の一勝ではなくスタートにしたいと思います。

「去年は激動の年だった。野球部の一勝もあつたが大事な野球部員を失った。また、西高の存続問題、合併など。今年は、去年以上に一日一日を大事にしていきたい。子供たちには人間的に成長して欲しいし、自立した人間になって欲しい。また、西高に入学して良かった、卒業して良かったと最後にガッツポーズが出来るよう、それに向けて全力を尽くしていきたい」と力が入りました。

す。これらの特徴を持つ犬は様々な場面で活躍しています。警察活動に従事する警察犬や麻薬捜査犬、あるいはがれきの下に埋まっている人を発見する人命救助犬などがあります。このほかにも土佐犬のような闘犬。秋田犬や甲斐犬のような狩猟犬もいます。またラブラドルレトリバーやゴールデンレトリバーのように視覚障害者を誘導する盲導犬のように人間生活を介助する犬もいます。

**ことわざいっぱい**

犬を題材にしたことわざもたくさんあります。

- 犬が西向きや尾は東 飼い犬に手をかまれる
- 犬も歩けば棒に当たる
- 犬猿の仲
- 犬の遠吠え
- 犬は三日の恩を三年忘れず

などなど

いろはがるたの「犬も歩けば棒に当たる」ということわざは、出歩くと災難に遭うという意味ですが、最近では出歩くことでチャンスに巡り会えるという意味で使われる場合が多くなっています。

今年一年は、みなさんとついでいろいろな意味でチャンスが巡ってくるような年であって欲しいと思います。

# 新春レター



出来ることを一生懸命に

伊藤さくらさん（泉沢）

昭和33年生まれ

猿橋小学校に赴任し4回目の冬を迎えたさくら先生。赴任した当時は、道路から学校が見えずに「すい雪」というのが開口一番のこと。「年女だからということではなく、とにかく自分出来ることがあれば一生懸命がんばりそれに取り組んでいきたいという気持ちです。また、取り組んでいる一つにマスターズ陸上があります。41歳から姉の薦めもあって走り始めました。この競技を通じて地域の方と交流ができた気分転換にもなります。学校の枠を超えた交流ができるのが続けてこられた理由かもしれません」と話し、ここの土地がものすごく気に入っていると笑顔がたえませんでした。



仕事とスポーツの両立

高橋栄光さん（分沢）

昭和57年生まれ

去年の春に大学を卒業して、北上信用金庫西和賀支店に就職した栄光さん。

「長男ということもあって就職は地元とを考えていました。また、大学では経営関係を学んできたのでこのこと決めて就職しました。最初の配属が、地元だけにやりにくい面もありますが西和賀支店でラッキーと思っています。今のところは仕事を覚えるので精一杯です。今年も余裕をもって臨機応変に仕事ができるようになりたい」と抱負を話し、仕事の合間には野球、サッカー、スノーボードなどのスポーツもやっていきたいと両立を目指します。



昨年なみに農業を

竹沢才治さん（槻沢）

大正11年生まれ

現役のころは、旧湯田町の統計調査員や湯田町消防団に数十年所属し、町政の発展に尽くしてきた才治さん。現在も壮健で、自宅前は小型ロータリー除雪機械で除雪作業をしています。「田んぼも難儀だからやめろって周りから言われる。われできねことだば人さ頼むども、われ食うこれだば作付けしでな。何もさねでいるのもんかからよ。今更、ゲートボールでもねべしよ。今年も去年なみに農業できればそれで良い」と毎日、大きめのコップ一杯のお湯割りの焼酎が楽しみだとコップを取り出しました。



ゼロからの再スタート

大澤幸子さん（湯本）

昭和21年生まれ

盛岡市から湯田に嫁いで今年で36年目。通訳から女将業に転身した幸子さん。いわておかみ会の会長も務めるなど要職もこなしています。

「今の時代は、明日さえどうなるかわからない状況。この状況を乗り越えていくためには落ち着いて、何をすればお客様に喜んでもらえるか、またリピーターとなつていただけるか、そのことを自分なりに考えお客様に喜んでもらう宿づくりをしていきたい」とし、36年前の初心に戻ってゼロからの再スタートのつもりで取り組んでいきたいと決意をあらたにしています。

# 新助役が決まりました



高橋定信さん



新田晟訓さん

1月17日臨時議会が行われ、助役の人事案件について原案のとおり可決されました。

先の12月議会で、助役を2人制にして、収入役を設置しない条例は議決済み。

助役には旧湯田町の元教育長の高橋定信さんと旧沢内村助役の新田晟訓さんが選任されました。任期は1月18日の辞令交付日から4年間

高橋助役が収入役を兼任します。また、高橋助役が

## 豪雪災害警戒本部を設置

# 例年になく雪に注意

町では、昨年12月28日に高橋町長を本部長とする豪雪災害警戒本部を設置しました。12月に本部を設置するのは異例の事です。

本部の設置基準は積雪深が2mを超えた場合には災害警戒本部、積雪深が2.5mを超えた場合には災害対策本部を設置することにしています。現在のところ

は、幸いにも人的な被害はありません。

町では、関係機関と連携しながら、除雪を万全に行うとともに、各課でパトロールを行うなどの体制で引き続き警戒していきます。

雪による異常などを発見した場合などは、すぐに本部まで連絡をお願いします。警戒本部/生活環境課(湯

湯田庁舎、新田助役が沢内庁舎に勤務することになっていますが、「臨機応変に対応したい」と町長が話しています。

高橋定信さん(野々宿・61) 企画情報課長、総務課長などを経て平成16年4月、17年3月まで教育長に就任。

新田晟訓さん(長瀬野・61) 議会事務局長などを経て、平成9年8月、平成13年2月までと平成14年2月、平成17年10月まで助役に就任。

田庁舎) ☎ 82 3283

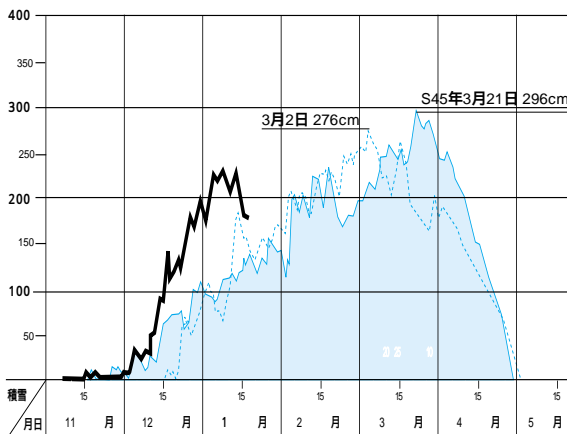


屋根の雪も人の背丈ほどに(川尻地区)

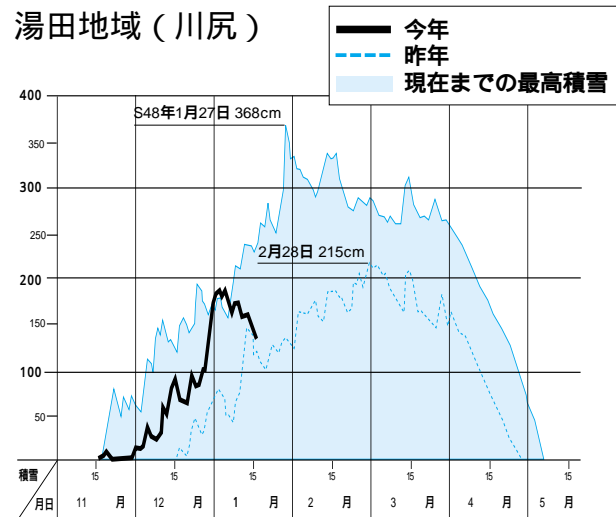
## 積雪量調査

町では、町内の2カ所で積雪量を冬期間、独自に調査しています。湯田地域は湯田庁舎付近、また沢内地域は沢内庁舎付近で調査しています。また、テレビで報道される結果とは観測場所も調査方法も違いますので、両者の数字は一致しません。問合先/企画課(湯田庁舎)統計係 ☎ 82-3284

### 沢内地域(太田)



### 湯田地域(川尻)



# 地域に根付いた ボランティア

## スノーバスターズ出動

湯田町社会福祉協議会と沢内村社会福祉協議会が中心となって進めている雪かきボランティアのスノーバスターズ。

### 湯田町スノーバスターズ

湯田町スノーバスターズでは、昨年12月25日に総会と出動式を行いました。

総会には、湯田中学生や西和賀高校生など登録した会員120人あまりが参加。



総会で  
は会長に及  
川六郎さん  
(川尻二区)

を再任したほか、事業計画などが原案どおりに承認されました。及川会長は「例年は1月になってから出動していたが、今年はドカ雪でスノーバスターズの出動を早めた。



決意を述べる茉里さん

地域に貢献し、不安を解消するためがんばって除雪して欲しい」とあいさつしました。

引き続き湯田中学校2年の高橋茉里さん(清水ヶ野)が「私たちはこのボランティアに参加することで、たくさんのお年寄りの方と話をしふれあう機会にしたい。地域に役に立ちたいし、この若さでまわりを元気にしていきたい」と決意を表明しました。その後、各班に分かれて、対象世帯の巡回を行う班、すぐでも作業に取りかかる班などそれぞれに作業を開始しました。

### 沢内村スノーバスターズ

1月9日は、沢内村スノーバスターズの出動式。実際には、年末から活動をし



12月25日、湯本地区

ていましたが、この日に正式に出動しました。スノーバスターズ会員のほかに、小学校の児童が地区活動として参加したり、西和賀高校野球部員など230人あまりが参加しました。



は例年より  
雪が多く現  
在2メートル  
の積雪が

ある。この沢内村スノーバスターズは今年で13年目となる。毎日の雪で大変だが、是非ともがんばって欲しい」と激励しました。沢内中学校2年の高橋夏生さん(猿橋)は「地域の皆さんのお役に立てるように、地域の方とも交流を深めなが



決意を述べる夏生さん

ら作業をしていきたい」と決意を表明しました。その後、担当地区ごとに分かれて、一斉に雪かき作業を行いました。

この日までの積雪で、すでに一階の窓が埋まっていく家もあり、さすがの隊員も現場を見てびっくりした様子でしたが、そこは長年の経験で的確に雪を処理しました。また対象の世帯では、大変ありがたい。自分で雪を払うにもこんなに多くては、「スノーバスターズの方が来て声をかけてくれる。これだけでも元気を分けてもらった気持ちになる。」「何十年ぶりの大雪。本当にこの雪には困ったもんだ」などと話しながら、スノーバスターズの出動を心待ちにしていた様子でした。



1月9日、太田地区

# 生命と財産を守る 新団旗を掲げ出初式



分列行進の様子

1月8日川尻地区で西和賀町消防出初式が行われました。出初式などには団員271人、ポンプ車6台、小型ポンプ車18台が参加しました。

銀河ホールで行われた式典の冒頭では高橋町長から西和賀町消防団長の高橋久雄さん（弁天）に新団旗が交付されたほか、高橋団長から各分団長に分団旗が交付されました。また、無火災を達成している各団や各部が表彰されたほか、昨年10月20日横浜市の日本消防協会中央消防訓練場で行われた第17回全国女性消防操法大会に出場した沢内村婦人消防隊に感謝状が贈呈されました。

統監の高橋町長は「長い歴史と伝統をもつ西消防団が、西和賀町消防団として一致団結して、地域住民の生命と財産を守り抜く体制になったことを本当にありがたく思う。消防団は、団員の確保などの課題を抱えているが、希望のもてるまちづくりをしていくために、団結を強めていく必要

がある。これまでの努力とチームワークのさらなる精進をお願いしたい」とあいさつしました。

また、高橋団長は「団旗が交付され、西和賀消防団として一つになった。地域の無火災に向けてさらなる精進を重ねていかなければならない」と訓辞しました。

その後は銀河ホール脇の駐車場で、統監による装備点検などを行う観閲が行なわれ、銀河ホールから川尻地区公民館まで分列行進を行いました。

昨年は沢内で1件、湯田で5件の火災が発生しました。また、今年に入ってから、すでに川尻で1件の火災が発生しています。

沢内村婦人消防協力隊と湯田町婦人消防協力隊については、まだ統合されていません。今年4月に統合の予定です。

## 【町長表彰（無火災表彰）】

無火災表彰とは、無火災が部にあつては5年以上で以後は5年ごとに、分団に

あつては3年以上で以後3年ごとに表彰されます。

3年間 第5分団（猿橋・泉沢・長瀬野・弁天）

5年間 第1分団第5部（湯川）と第5分団第2部（泉沢）

10年間 第1分団第6部（耳取・鷲之巢・草井沢）

15年間 第4分団第4部（下の沢）と第5分団第3部（長瀬野）

## 【町長感謝状】

指揮者・佐々木美代子さん（若畑）、1番員・佐々木雪恵さん（太田）、2番員・本多るみさん（新町）、3番員・田村あい子さん（太田）、4番員・赤石百合子さん（太田）、補充員・米澤ユ子さん（太田）



表彰された沢内村婦人消防隊のみなさん



# 西和賀を雪合戦のメッカに

## 町長杯小学生雪合戦大会

旧湯田町からの開催回数も含めて、今年で第6回目を迎えた西和賀町長杯小学生雪合戦大会は、1月8日川尻小学校グラウンドで行なわれました。大会には、町内のほか北上市や花巻市などからも13チームが出場し雪上で熱いバトルを繰り広げました。優勝は、地元から出場した第13護廷突撃隊チーム。



決勝戦の様子

この大会は、西和賀町雪合戦協会が主催するもので

大会の冒頭では同協会長の鈴木智之さん（湯川）が「この大会は、岩手県はもとより近県における雪合戦のメッカになることと学校間の交流や親子交流を目的に行っている。各チームとも、全力を尽くして悔いのない試合にして欲しいし、存分に競技を楽しんで欲しい」とあいさつしました。

激励に訪れた高橋町長は「チームが一丸となって競技することに雪合戦の醍醐味がある。遠野高校サッカー部は準決勝で敗れたが、最後まであきらめずに戦った。このような精神を見習い、みなさんも最後まであきらめずに自分たちの力と集中力を高めながらがんばって欲しい」と選手にエールを送りました。

町内からはからトランスポートJr（猿橋小）、ザ・野ブタ（川尻小）、護廷13隊突撃（川尻小）、越中畑フ

アイターズ（越中畑小）の合計5チームが出場しました。このうち決勝トーナメントにはトランスポートJr、護廷13隊突撃、越中畑ファイターズがコマを進めました。

しかし、トランスポートJr、越中畑ファイターズは、惜しくも敗退したものの護廷13隊突撃が決勝戦に進出。決勝戦の相手は、優勝経験もある強豪の北上ゴブリンス。護廷13隊突撃が相手の隙をついて旗を奪取するなど終始有利に試合を進め優勝しました。

チーム代表の鈴木雄太君（川尻小6年、湯川）は「6年生なのでこの大会の出場は今年が最後になる。最後の最後ではじめて優勝できてうれしかった」と優勝の喜びを話していました。

町などが主催するほつとゆだ雪合戦大会は、2月4〜5日に湯本小学校グラウンドで行われます。地元からもたくさんの方が参加します。どうぞ選手の応援をお願いします。



優勝した護廷13隊突撃チーム

### 理解を深めるために

Yukigassenは

共通語に

雪合戦は、雪国での遊びから競技スポーツへと進化をとげています。世界大会なども開催されるなど雪合戦は世界の共通語になりつつあります。

競技ルールは、国際ルールや日本雪合戦連盟ルールがあります。また、地域特有のルールが加味される場合もあります。今大会では、

日本雪合戦連盟ルールで行われました。一般的なものは次のとおりです。

#### チーム構成

競技者7人・補欠2人・監督1人の10人1組構成。

#### 勝ち負け

時間内に相手陣地の旗を奪った時点、あるいは雪玉により相手選手を全員倒した時点で勝利となります。また、時間切れで決着がつかなかった場合には、終了時点で多くの選手が残っていたチームが勝ちとなります。

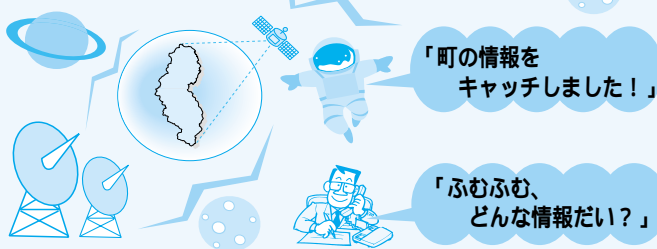
#### 競技時間

1セット3分で3セットを行い、2セット先取で勝利となります。

#### 持ち玉

持ち玉は1チーム1セット90個（1試合で270個必要になります）。雪玉の大きさにも規定があり直径6・5センチから7センチと決められています。限られた時間と持玉の中で競技しなければなりません。

# 地域リーダー



## 気持ちを新たに 姿勢を正して書き初め

沢内地区では公民館活動の一環として毎年、小中学生を対象に元日から2日にかけて各地区で書き初めを行っています。ふるさと館（東大野地区）では1月1日に行われ、参加した分地区や内の沢地区の児童や生徒が学年ごとに設定された課題に取り組みました。参加者らは納得がいくまで何度も書き直したり、あ

るいは地区の方から指導を受けながら作品を完成させました。なお、昨年まではそれぞれの作品を表彰していましたが、今年からは表彰を行わないことになりました。提出された作品は、沢内庁舎集会室で12日〜17日まで展示され、多くの町民が来庁し作品を鑑賞していました。



背すじをピンと伸ばし集中、集中!!

## 沢内バーデンで

### 国際交流協会研修会

沢内村国際交流協会（佐々木寛会長）が主催する沢内村国際交流協会研修会がこのほど沢内バーデンで行われました。参加者は、地元などから30人あまりが参加し、熱心に講師の話に耳を傾けていました。

今回は、NGO活動をしている米澤真奈美さん（盛岡市）が、日本では予防接種で防ぐことが出来る病気も、薬がないため予防でき

ずに苦しんでいる人を戸別訪問し、理学療法で指導したタンザニアでの活動をビデオで紹介し、他の国だから関係ないではなく、日本にいても経済支援のための活動が必要である」と訴えました。

また、外務省の武藤一郎企画官は、政府などが開発途上国の経済・社会の発展や福祉の向上に役立つために行う資金・技術提供によ

る協力（このことを政府開発援助といい、ODAと略します）活動の内容や重要性を話していました。

NGOとは、政府や国際機関とは違い、ボランティアなどの民間の立場から、利益を目的とせず、国や民族、宗教の壁を越え国際的に協力をする非政府組織の団体です。



政府開発援助の必要性を話す武藤企画官

## 沢内病院で恒例のクリスマス会

12月22日沢内病院では、入院患者を対象にした恒例のクリスマス会が行われました。

当日は、3階病棟にジングルベルなどのクリスマスソングが流れ、主任医師の後藤実さんと看護師の加藤里菜さんがサンタクロースに扮して登場。各病室を回りながら、プレゼントを手渡しました。

病室では「プレゼントもらうのはじめてだ」「うれしいことよ」など喜びの声でいっぱいになり、楽しいひとときと思い出の日になりました。



患者さんひとりひとりにプレゼント

## 「待ってました」と シユプール描いた結団式

1月3日町営湯田スキー場で、湯田町スキースポーツ少年団の結団式が行われ、スキー競技を待ちわびた70人あまりの児童が結団式に参加しました。

湯田町スポーツ少年団本部長の石川洵さん（川尻三区）は、「できるだけ休まずに、少しづつレベルアップしていくという気持ちで続けて欲しい」とあいさつし、指導する湯田町スキー協会長の高橋紹郎さんは「みなさんがただやる気になるかどうかが大切。

うまくなって、参加して滑ってやるぞという気持ちを持って欲しい」と激励しました。

早速、参加した児童たちは技能にあわせて組み分けされ、雪面にシユプールを描いていました。

スポーツ少年団活動は、現在はまだ統合されていないため、旧町村単位でそれぞれに活動しています。

旧沢内村では、スポーツ少年団が学校単位で組織されていますが、旧湯田町では学校単位ではなく競技こ

## 両町村の納貯連が 4月に設立予定

湯田・沢内の納税貯蓄組合連合会が、この4月に合併することになり、このほど両町村連合会長ならびに副会長、監査委員など11人による合併準備委員会が発足しました。準備委員会の会長には湯田町納税貯蓄組合連合会長の高橋強さん



（川尻）が互選されました。会議では、新しく発足する西和賀町納税貯蓄組合連合会の規約や事務費補助金の交付要綱、納税協力員の設置要

とに一本化されているなど組織に違いがあります。現在は、スポーツ少年団の代表者らなどで今後の組織のあり方について協議しています。



先生を真似る参加児童

綱などについて協議をしました。

これを受けて沢内村連合会が1月8日に解散をし、湯田町連合会でも1月11日に会議を行い、解散の方向で検討することになりました。

合併した場合の規模は1810世帯、63の単位組合となります。

## 麻美さん都大路を力走 「走りには満足」全国駅伝大会

10月25日（日）京都市の西京極陸上競技場を発着点とする第17回女子全国高校駅伝競走大会が開催されました。この大会は、男子はフルマラソンと同じ42・195<sup>キ</sup>を7区間で、女子は半分の21・0975<sup>キ</sup>を5区間で繋いでいきます。

岩手県代表として参加した花巻東高校の選手の中で、沢内中学校から同校に進学した刈田麻美さん（川舟）が一年生ながら出場し3区3<sup>キ</sup>を10分45秒の記録で力走しました。

チームとしては、序盤から出遅れ総合順位は残念ながら45位に。

「高校の陸上部に入部した時は、練習もきつく本当にやっくいけるだろうかと不安になったが、強くなりました。



前走者からタスキをしっかりと受け取る麻美さん

い一心で練習についてきた。3区はアップダウンがあり、自分に適しているコースだった。現在の自分のもてる力はすべて出し切ることが出来たので満足している。

しかし、今後はもっと脚力をつける必要があると感じたし、来年もこの大会に出場し総合で20番台を目指して練習を積み重ねていきたい」と抱負を話していました。

# 真冬の荒行・裸まつり

## 沢に飛び込み身を清め

湯之沢地区にある山祇神社にまつられている「山の神」の年越しにあたる旧暦12月12日に毎年行われている長松垢離とり（通称・裸まつり、西和賀町無形民俗文化財）は、今年1月11日に行われました。この奇祭を見ようと多くの見物客やアマチュアカメラマンが集まりました。

この長松垢離とりの始まりは、およそ300年ほど前とされ、以前は雪の上を転がって身を清めたとされています。しかし、長松地区が昭和47年に集落移転したことで現在のように入る形になりました。この行事は、山の安全や無病息災、そして豊作を祈願し行われます。

参加者は町内のほか、花巻、北上などから総勢20人。参加者らは湯之沢公民館で昔ながらの臼と杵を使って「力もち」をつき、それを山祇神社に奉納してから、およそ500メートル先の岩滑沢まで下帯姿で一気に駆け下ります。寒さをものともせず大きな掛け声とともに、3回水につかり身を清めました。

数年来参加しているという山崎浩行さん（湯本）は、「去年より寒く、冷たい気がした。ここに参加して身

を清めるようになってから、風邪をひかなくなりました。御利益があるので毎年参加するようにしている」とぶるぶる震えながら感想を話していました。



男衆によるもちつき



水面にはうっすら氷が張っていました

この様子は、いわてめんこいテレビの「山・海・漬」という番組で放送される予定です。放送日は1月28日午後6時30分。

# 冬の風物詩・白木野人形送り

## 武士の姿の人形で疫病防止

1月19日は、毎年「白木野人形送り（西和賀町無形民俗文化財）」の日。正確な記録は残っていないものの、始まりは200年前とも300年前からとも言われ現在まで引き継がれています。



行列の先頭の小原君（右）



公民館で地区民が協力しあって完成

民館に集合。それぞれの部位にあらかじめ作成されたワラを、人形の形にしていけます。関係者や報道陣が多数見守る中、およそ1時間30分程度でワラ人形が完成しました。

人形は頭にはまげ、腰には脇差の武士の姿をしています。年男がほら貝を鳴り響かせながら、人形を担いで村（地区）境にある栗の木に人形をくくり付けます。この人形が、村境から地区内に疫病が入ってこないように、にらみを利かせます。

この人形送りでは、年男が行列の先頭でほら貝を吹きならすのがならわしになっていますが、今回は昨年の年男の小原涼君（越中畑小学校6年）が担当しました。涼君は、行列の行進を知らせるほら貝を吹き、その音は地区に響き渡りました。

なお、結ハウス（小繋沢）前に設置されている日本一大きなワラ人形は、白木野地区の方々の手によるものです。

同様の人形送りは左草地区で2月11日、下前地区では3月12日に行われる予定になっています。

# 受賞おめでとうございます

## それぞれの分野でがんばりました

### 地域に感謝してボランティア 湯田町建設業協会に 実行章

湯田町建設業協会では、およそ20年間にわたる町内ボランティア清掃活動を行い、このたび「小さな親切実行章」を受賞しました。この章は、全国主要銀行などが出資する社団法人「小さな親切」運動本部が実施しているもので、1月5日に岩手銀行北上支店で贈呈式が行われました。

同協会は、旧湯田町内で建設業などを営む19社で組織され、公共事業に携わっていることから、少しでも地域のみなさんに感謝の気持ちを還元したいとボランティア活動を行ってきました。

また、作業内容も建設業の特色を活かした道路の側溝の

泥上げや草刈り作業などを行っています。

同会長の菅原政一さん（川尻）は、「今回の実行章の受賞は今後の活動の励みになった。これからも加盟各社で協力しながら地域のために活動を続けていきたい」と話していました。



菅原政一会長（左）、糯田昭三副会長

### 明るい選挙ポスター

### 悠太君優秀賞

岩手県選挙管理委員会などが主催する「平成17年度明るい選挙啓発ポスター」で沢内第一小学校6年生の高橋悠太君（前郷）の作品が、小学校の部の優秀賞に入選しました。その授賞式が12月20日岩手県水産会館で行われました。悠太君の作品は、小学生の部に全県から応募があった2000点のなかから今回の優秀賞の荣誉に輝きました。受

賞した作品は、選挙を野球にたとえ、直球で一票を投じるといふもの。不正な投票はしないし、してはいけないというメッセージが込められています。



### 税の作文コンクール

### 沙希さん連合会長賞

このほど行われた花北地区納税貯蓄組合連合会主催による税に関する作文コンクール中学校の部で、湯田中学校3年の高橋沙希さん（川尻二区）の作文がみごと連合会長賞に選ばれました。

作文は「消費税から考えたこと」と題するもので、沙希さんは消費税の使い道に疑問があると投げかけました。本当に有効に使われているのか。もっと、自分たちの身近なところで使って欲しいと訴えました。また、今回の受賞を「大変うれしい」と話しています。

沙希さんの作文は、花巻・北上管内の中学校から千点あまりの応募作品のなかから今回の荣誉に輝きました。



## ミズキだんこで 児童と交流

オロセの会で小正月



風習を受け継ぐ児童

湯之沢のオロセの会では、毎月2回公民館に集まり体操をしたり講演会を行うなど、家に閉じこもらないために交流を深めながら楽しんでいきます。年間行事では花見などを実施するなど積極的に集まりを持っています。その活動の一つがミズキだんこづくりで地元児童との交流。ミズキだんこづくりは、小正月の行事として伝わるもので、五穀豊穡を祈り行われてい

## 交通指導隊・防犯隊合同出動式

1月15日湯田庁舎前で、西和賀町交通指導隊と両町村防犯隊による合同出動式が行われました。西和賀町交通指導隊から隊長の佐々木孝治さん（前郷）以下10人、湯田町防犯隊から隊長の五十嵐廣祐さん（湯本）以下11人、沢内村防犯隊から隊長の内記照勇さん（前郷）以下9人の合計30人と北上警察署副署長など関係者が参加しました。

湯之沢公民館で児童と一緒に杵と臼でもちつきをして、ミズキに色とりどりのだんご餅をつけました。今ではすっかり珍しくなったミズキだんこづくり。昔の風習を次世代に伝えていきます。代表の湯澤一男さんは「会の平均年齢は86歳。区長や民生委員、行政からも協力を得て活動をしている。当時は餅が本当のご馳走だった」と昔を思い出しながら話していました。

両町村の交通指導隊は11月1日から統合して活動していますが、防犯隊については今年4月の統合を目指して調整が行われています。

式の冒頭で、高橋町長は「昨年末から今までにない豪雪。そのため、住民に対する事故防止活動や防犯の啓もう活動など今までにないほど重要になっている。今後とも西和賀町住民のた

めに活動し、いつそう精進して欲しい」と訓辞しました。その後、各隊員らは町内をパトロールし事故防止を訴えました。



町長による装備点検

## 入札執行状況

町では次のとおり入札を行いました。施行箇所などの詳細については、担当課までお問い合わせください。1～3番は建設課 ☎82-3288まで、4番は教育委員会生涯学習課 ☎82-2045まで

### H18.1.13執行分

番号：1

工事名：災害復旧工事（湯之沢）  
内容：コンクリートブロック積工26㎡、裏込工17㎡、法面工18㎡  
契約金額：136万5000円 契約者：竹沢工務店  
工期：H18.1.19～18.3.10

番号：2

工事名：災害復旧工事（間木野1）  
内容：ふとんかご工30㎡、法面工27㎡、吸出防止剤32㎡  
契約金額：64万5750円 契約者：（有）武田工務店  
工期：H18.1.19～18.3.10

番号：3

工事名：災害復旧工事（間木野2）  
内容：コンクリートブロック積工21㎡、裏込工10㎡、型枠8.9㎡  
契約金額：70万8750円 契約者：羽柴興業  
工期：H18.1.19～18.3.10

番号：4

工事名：防雪管理センターアスベスト除去工事（貝沢）  
内容：飛散抑止剤吹付235㎡、吹付石綿除去235㎡  
契約金額：509万2500円 契約者：（有）松川工務店  
工期：H18.1.19～18.3.17

事務局長より  
近況や特別町民事業に関するご意見・ご要望など、お便りをおまちしております。観光商工課内  
☎01997823290

仙台市 田村 亮治さん

新年あけましておめでとうございます。年末にお送りしたお正月の特産品はいかがでしたか。町では、特産品等の開発に向け様々な試みをおこなっていますので、ご意見等があれば是非お寄せ下さい。  
お便り紹介  
ふるさと特産品ありがとうございました。真心のこもった懐かしさ嬉しく賞味しております。ぜんまいは、当地（仙台）ではなかなか手に入りませんし、あつても高価です。団平さんは、私の同級生の息子さんです。思いをこめてお供えします。新しい「西和賀町」誕生で何かと尽力、そして多忙なことだったと思います。新町となつていろいろと困難なこと多いと思います。が、英知と結の心でよき町になりますよう願っております。

特別町民  
コーナー

今年も特別町民事業を  
よろしくお  
願ひします



# 申告の準備はお早めに

## 湯田会場は湯田庁舎のみに

2月10日～3月15日まで

平成18年度の町県民税・17年分の所得税の申告相談を2月10日から3月15日まで行います。西和賀町として初めての相談となることから会場が一部変更になります。旧湯田町は、昨年は複数会場で行っていましたが、今年から湯田庁舎のみで行なうことになりました。旧湯田町（一部の地区を除き）についてはバスを運行して対応します。どうぞご理解をお願いします。

なお、今回から高齢者控除廃止などの税法改正により年金受給者や高齢者の方にも申告書を配布する場合があります。すでにご申告の準備をお願いします。

なお、申告相談に持参していただく書類は次のとおりです。事前に必要な書類をそろえ、早めに申告するようにお願いします。

### ！ 申告の必要性

税金を納めるのは国民の義務です。申告は、その年中に生じた所得金額の総決算を意味します。そのため、その確定所得金額について計算した税金の額を、源泉徴収された税金や所得税の一部をあらかじめ納付する予定納税で納めた税金などの総額を精算するものです。そして税金を納めすぎている人は、その分の還付を受けることができます。逆に、所得があり税金が不足

している人は新たに税金を納めていただく必要があります。

### ！ 申告が必要な人

- 1 事業所得や不動産所得などがある人
- 2 給与所得がある人  
大部分の人は、年末調整により所得税が精算されるので申告の必要はありません。ただし、平成17年中の給与の収入金額が2000万円を超える人や給与を1か所から受けていて、給与所得や退職

所得以外の各種の所得金額の合計額が20万円を超える人は申告をする必要があります。

- 3 公的年金等に係る雑所得がある人

- 4 退職所得がある人

一般的に所得税の課税は、退職金の支払いの際に支払者が所得税を徴収する源泉徴収だけで済みますが、税額が調整されていない場合もあります。なお、税額が調整されないのでおたずねください。

- 5 山林・譲渡（土地・建物）・一時所得（生命保険金など）がある人

### ！ 申告に必要なもの

- 1 町県民税の申告書  
税務署から確定申告書が送付されている場合は一緒に持ちってください
- 2 預金通帳  
申告者本人のもの
- 3 印鑑  
通帳に使用しているもの

### ！ 所得計算のために必要な書類

- 1 給与所得がある人  
給与の源泉徴収票
- 2 年金所得がある人  
年金の源泉徴収票
- 3 営業所得がある人  
営業所得計算の基礎と

なった書類

- 4 農業所得がある人  
農協発行の年間取引報告書および清算書・預金通帳・受領書・肉用牛販売証明書など

- 5 その他事業所得がある人  
所得計算の基礎となった書類
- 6 不動産などの譲渡所得がある人  
売買契約書・領収書・公共事業に伴う場合は買取等の証明書

### ！ 控除を受けるために必要な書類

- 1 社会保険料控除  
国民健康保険税・国民年金・社会保険料（任意継続も含む）などの領収書（国保税・介護保険料を口座振替されている方で、必要な場合は税務課又は総合サービス課にお申し出ください）
- 2 医療費控除  
医療費や施設入所の領収書・保険金などでまかなわれた金額がわかる書類など
- 3 損害保険料控除  
建物共済、長期・短期損害保険掛金証明書
- 4 生命保険料控除  
生命保険掛金控除証明書

- 5 障害者控除  
障害者手帳

介護認定を受けている方のうち障害者手帳を持っていない方で、控除を受けられる場合があります。ありますのでご相談ください。

- 6 小規模企業共済掛金控除  
第1種共済掛金や心身障害者扶養共済掛金証明書
- 7 寄付金控除証明書  
共同募金会または日本赤十字社からの受領書
- 8 雑損控除  
災害に関する書類など

### ！ その他

- 1 青色申告・確定申告を済ませた人や所得のない人でも町県民税の申告書に住所氏名を記入し税務課へお届けください。
- 2 申告書が配布にならない人でも所得のある人は申告が必要です。
- 3 各地区の指定日以外に日曜日も2回相談日を受けますのでご利用ください。
- 4 旧湯田町地域のバス運行については申告書配布の際にお知らせします。
- 5 申告相談については税務課（沢内庁舎）  
☎ 8513414まで



申告会場は下記のとおりです。申告日後半の各地区対応の日以降は混雑する事が考えられますので、なるべくご自分の地区対応の日に申告されるようご協力をお願いします。

## どの会場も午前9時～午後4時まで開設します

### 湯田地区

申告会場：湯田庁舎 3階大会議室

地区名	予定月日
川尻一区	2月10日(金)
川尻三区	2月13日(月)
川尻二区	2月14日(火)
小繫沢・大渡	2月15日(水)
湯之沢	2月16日(木)
湯田	2月17日(金)
柳沢・芳ヶ沢・沢中・桂子沢	2月20日(月)
湯川	2月21日(火)
槻沢	2月22日(水)
耳取・草井沢・本屋敷・鷺之巣	2月23日(木)
湯本	2月24日(金)
全湯田地区	2月26日(日)
清水ヶ野・間木野・穴明	2月27日(月)
左草・下左草	2月28日(火)
下前・寅沢・樺沢	3月1日(水)
白木野・細内	3月2日(木)
野々宿・巢郷・中村・越中畑	3月3日(金)
全湯田地区	3月12日(日)

- \* 2月26日と3月12日の日曜日は全湯田地区対応で開設します。
- \* 3月6日(月)～15日(火)までは、全湯田地区対応で開設します。(ただし、3月11日は受付しませんのでご了承ください。)

### 沢内地区

申告会場：沢内庁舎総合センター 2階集会室

地区名	予定月日
東大野	2月10日(金)
西大野	2月13日(月)
下新町	2月14日(火)
上新町	2月15日(水)
前郷	2月16日(木)
鍵飯	2月17日(金)
太田	2月20日(月)
川舟(高下・新山)	2月21日(火)
川舟(丸志田・小坂・安ヶ沢・川舟)	2月22日(水)
長瀬野	2月23日(木)
泉沢	2月24日(金)
全沢内地区	2月26日(日)
猿橋	2月27日(月)
弁天	2月28日(火)
若畑	3月1日(水)
貝沢	3月2日(木)
全沢内地区	3月12日(日)

- \* 2月26日と3月12日の日曜日ですが全沢内地区対応で開設します。
- \* 3月3日(金)～15日(火)までは、全沢内地区対応で開設します。(ただし、3月4日・5日・11日は受付しませんのでご了承ください。)

労働者に支払わなければならないとされ、その額は毎年見直しされます。

すでに、昨年10月1日から時間額608円に改正されましたが、先ごろ産業別最低賃金が改正され施行されました。

全ての事業主は、パートタイマー、臨時、アルバイトも含む雇用する労働者に最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。また、最低賃金額を理由に労働者の賃金を引き下げることも許されません。

問合せ先 / 岩手労働局労働基準部賃金室 ☎ 019-604-3008

項目	時間額	発行日
岩手県最低賃金	608円	H17.10.1
岩手県産業別最低賃金	鉄鋼業	715円 H12.12.10
	鉄鋼業、金属線製品、その他の金属製品製造業	682円 H17.12.11
	電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業	664円 H17.12.11
	光学機械器具・レンズ、時計・同部品製造業	667円 H17.12.11
	各種商品小売業	678円 H17.12.11
自動車小売業	684円 H17.12.11	

## 他の機関から

### 社会福祉法人合併公告

平成18年4月1日、社会福祉法人湯田町社会福祉協議会と社会福祉法人沢内村社会福祉協議会は合併して社会福祉法人西和賀町社会福祉協議会を設立し、各社会福祉協議会は、解散する旨を理事会、評議会において決定しました。

ただし、合併期日が法務局閉庁日につき、登記日は平成18年4月3日となります。

この合併に対し異議のある債権者は、本公告記載の翌日から平成18年3月20日までにその旨をお申し出ください。

### 連絡先

岩手県和賀郡西和賀町川尻40-73-82

社会福祉法人湯田町社会福祉協議会会長 菅原信夫

岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2-81-1

社会福祉法人沢内村社会福祉協議会会長 太田祖電

### 簡易郵便局受託者を募集

川尻大通簡易郵便局では、平成18年3月31日から一時的に窓口を閉鎖する予定で、現在後任の受託者を公募しています。川尻大通簡易郵便局の受託者として運営を希望する方は、川尻郵便局までお申し出下さい。

なお、簡易郵便局の業務内容などについては、川尻郵便局より別にご説明申し上げます。募集期間 / 2月17日(金)まで  
問合せ先 / 川尻郵便局 ☎ 82-3100

### 善意ありがとうございます

桑原イト子さん(前郷)から、図書購入費として5万円をいただきました。このお金は沢内第一小学校の児童図書や読書ボランティアの推薦図書の購入費にあてる予定です。ありがとうございました。

教育委員会・沢内第一小学校

### お詫びと訂正

12月22日発行の広報にしわが12月号(第2号)16ページ民生児童委員・主任児童委員の名簿に誤りがありました。正しくは次のとおりです。謹んでお詫びし、訂正します。

氏名	担当地区
照井満さん	鷲之巣・草井沢
高橋千賀子さん	湯川
佐々木力子さん	小繫沢
小田島末次郎さん	白木野・越中畑
田村公一さん	柳沢

### 戸籍の窓 (敬称略)

12月16日~1月17日受付分

掲載を希望しない事も出来ます。届け出の際にお申し付けください。

### お悔やみ申し上げます

高橋 進・75歳・泉 沢  
米澤 敏子・95歳・太 田  
高橋 富子・69歳・上野々  
高橋 金造・77歳・川 舟  
北村 福治・80歳・貝 沢  
高橋 長蔵・89歳・前 郷  
近藤 正時・86歳・猿 橋  
高橋 ソノ・79歳・下 前  
高橋 ヨス・80歳・柳 沢  
原 一之・89歳・湯 本  
高橋 章夫・51歳・上野々  
吉 田 キ又・83歳・川 舟

### ご誕生 おめでとうございます

内記 藍 梨・女・孝洋・前 郷

### 末永くお幸せに

柏崎 英之 ) 湯 田  
高橋 祐子 ) 湯 本

### 住民の動き (12月末現在)

項目	実数	前月との増減
転入	4	
転出	10	
出生	4	
死亡	15	
人口	7,671	- 17
男	3,610	- 13
女	4,061	- 4
世帯数	2,539	+ 1

### 交通事故の状況 (12月分)

	物損	負傷	人身	死亡	飲酒
実数	24	0	0	0	0
累計	180	14	11	0	1

### 火災・救急の状況 (12月分)

火災		
区分	火災出場件数	損害額
件数	0件 (5件)	0円 (1千679万円)

救急				
区分	救急出場件数			合計
	交通	急病	その他	
件数	1件 (22件)	14件 (169件)	14件 (112件)	29件 (303件)
搬送人員	1人 (25人)	14人 (156人)	13人 (104件)	28人 (285人)

( )は1月からの累計



## 役場から

### 悪質商法にご注意

#### 地デジ放送詐欺にご注意

先に注意を喚起するチラシを全戸配布しましたが、地上デジタル放送の切り替えに伴い総務省やNHKの名を語り、切り替え工事費を振り込ませる新しい手口が各県で発生しています。これは、詐欺ですので絶対に振り込まないようにしてください。

#### 貸します詐欺に注意

最近、大手金融機関などを装って「お金を貸します」といった内容のダイレクトメールや携帯メールなどを送りつけて、保証金や保険金名目でお金をだまし取る手口が急増しています。

これは「貸します」詐欺という新たな手口です。取引のない会社などから突然送られてくるこのようなダイレクトメールなどにはくれぐれも注意してください。

問合せ先 / 町民課（沢内庁舎）  
☎ 85-2111 または 生活環境課（湯田庁舎）☎ 82-3283

### 下水道受益者分担金 忘れずに納付を

旧湯田町分の下水道受益者分担金（第2期）の納付期限は2月1日～2月28日までです。期限までに忘れずに納付してください。

問合せ先 / 建設課（湯田庁舎）  
☎ 82-3289

### ほっとゆだ2006 北日本雪合戦大会

この大会は、北海道壮瞥町で行われる「昭和新山国際雪合戦大会」の岩手県代表選考会も兼ねています。雪上のスポーツとして毎年多くのチームが参加し、雪に親しみながら熱戦を繰

り広げます。町内からも多数のチームが出場します。どうぞ、応援にお出かけください。

日時 / 2月4日（土）～5日（日）  
初日は予選リーグで試合開始は8:20～、2日目は準決勝、決勝トーナメントで試合開始は9:00～  
場所 / 湯田小学校グラウンド  
問合せ先 / 観光商工課  
☎ 82-3290

### 湯田温泉峡雪あかり

各家々または各地区で、趣向を凝らして作られた雪像やミニかまくらにろうそくをともした、雪深い西和賀ならではのイベントです。その他、関連イベントも開催されます。

日時 / 2月11日（土）～12日（日）  
場所 / 旧湯田町内  
問合せ先 / 湯田温泉峡雪あかり実行委員会（湯田町商工会内）☎ 82-2270

### 入札参加資格審査を受付

町では、平成18年度（平成17・18年度入札資格審査申請の中間年）の入札参加資格審査について次のように決めました。

平成18年度に町で行う入札に参加する場合には、必要な書類を期限内に提出して下さい。ただし、昨年すでに旧湯田町若しくは旧沢内村のどちらかの町村に平成17・18年度の入札参加資格審査申請を提出され受理されている場合は、改めて提出する必要はありません。

提出期間 / 平成18年2月1日～平成18年2月28日までです。

#### 提出書類

1. 入札参加資格審査申請書（岩手県様式一式） 県外事業者等で岩手県様式の入手が困難な場合は国土交通省様式でも可（以下同じ）
2. 経営事項審査結果通知書又は総合評定値通知書（写し可）
3. 工事経歴書（県様式）

4. 技術職員名簿（県様式）
5. 浄化槽施工技術者調書（任意様式）（浄化槽設備士免状の写しでも可）

浄化槽工事を希望する者

6. 舗装施工管理技術者調書（任意様式で技術者の氏名、生年月日、採用年月日、級種、取得年月日、資格番号が記載された一覧）と舗装施工管理技術者の資格者証、または試験合格者通知書の写し

舗装工事を希望する者

7. 印鑑証明書（写し可）
8. 使用印鑑届（任意様式）
9. 委任状（任意様式）
10. 委任先の事業所及び連絡先（任意様式）
11. 納税証明書（写し可）法人は法人市町村民税及び固定資産税。個人は市町村民税、固定資産税及び国民健康保険税。全業者とも消費税（ただし課税対象事業者）

提出部数及び書類規格 / 1部、A4判ファイル閉じ（色指定なし）  
提出方法 / 持参又は郵送どちらでも可

提出先及び問合せ先 / 〒029-5512 西和賀町川尻40-40-71 西和賀町総務課 ☎ 82-3281

業務委託、物品購入、役務等に係る入札参加資格審査についても、1の建設工事に係る規定を準用します。

資格審査の結果は特に通知しません。ただし、資格者名簿に登載できないものについては、申請者に文書で通知します。

資格者名簿の有効期間は平成18年度の1会計年度とします。

## 国や県から

### 産業別最低賃金改正

最低賃金制度では、最低賃金法に基づき国が賃金の最低限度を定め、使用者はその額以上を

# 西和賀探訪 ..... ②

西和賀町の歴史・文化・観光施設を  
紹介します

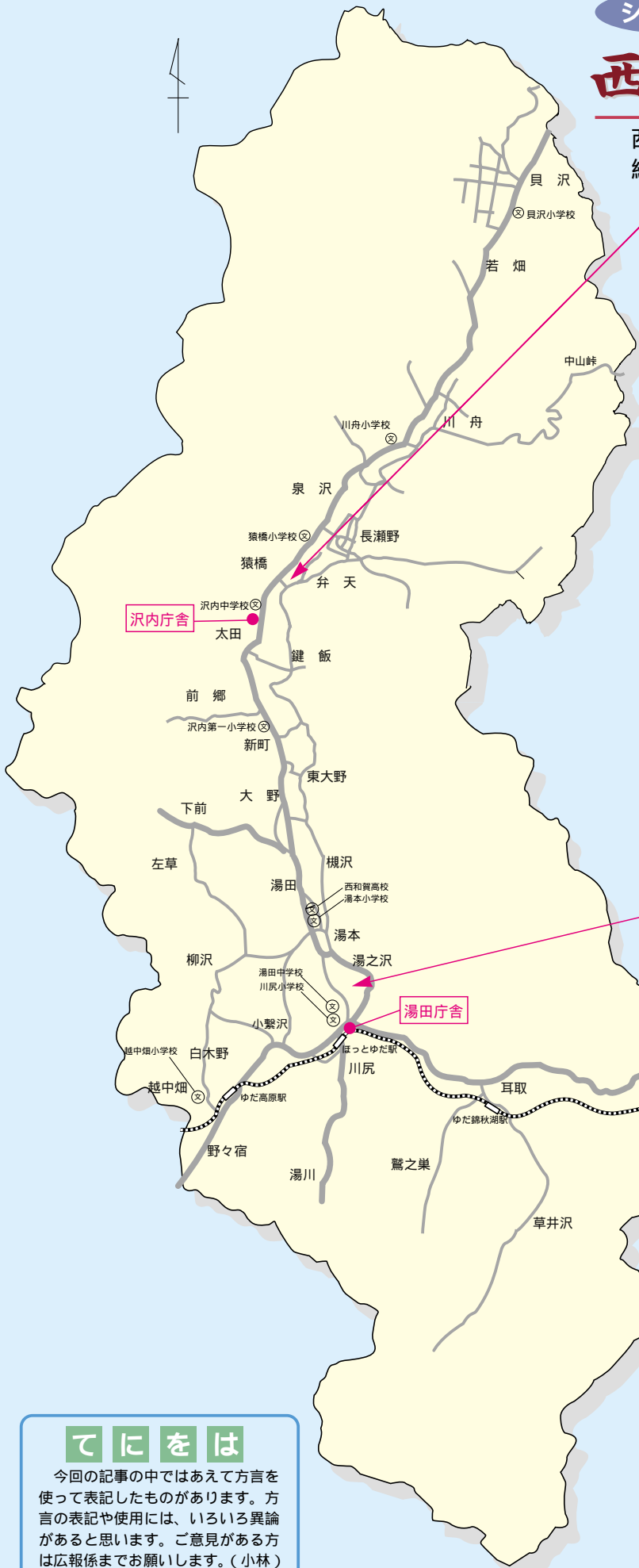
## 弁天島 弁天地区

およそ40メートルの川幅にぼつんと浮かぶ島。  
その島に、七福神の一神で両腕に琵琶を抱える弁財天をまつるいづくし巖島神社があることから弁天島の名前で呼ばれるようになったと言われています。島には両岸から橋がかけられ対岸の行き来ができます。  
周囲は岩で囲まれ風光明媚な名勝地として、また地域の人々の信仰の場として親しまれています。



## オロセ倉 湯之沢地区

地域の人々には昔から「オロセ倉」と呼ばれ親しまれている山。オロセという名前の由来は、地区の長老に聞いてもはっきりしません。最近では、その岩肌がライオンのようにも見えることから「ライオン山」という名前でも親しまれています。頂には町で整備した携帯電話の通信鉄塔、麓には公園があり、夏にはスライダーやオートキャンプで楽しむことができます。



沢内庁舎

湯田庁舎

### てにをは

今回の記事の中ではあえて方言を使って表記したものがああります。方言の表記や使用には、いろいろ異論があると思います。ご意見がある方は広報係までお願いします。(小林)